

二液形無溶剤ポリウレタン樹脂塗料 ミゼロンB-500/A-5000

重防食ウレタンエラストマー被覆塗料

ミゼロンの傷補修要領書

ミゼロンS-100/A-1000 黒・グレー
ミゼロンS-700/A-7000 黒

ミゼロンシステムの傷補修は、本要領書に従って補修を行って下さい。



エーエスパイント株式会社

1. 補修材料

【プライマー】二液形ポリウレタン樹脂塗料

ミゼロンRプライマー(N)	(荷姿)	1kg/セット
	塗料液	0.8kg
	硬化剤	0.2kg
希釈用シンナー：＃400 希釈：10%(刷毛塗り)	4L・16L	



【上塗り塗料】二液型無溶剤ポリウレタン樹脂塗料

ミゼロンB-500/A-5000	(荷姿)	1kg/セット
	塗料液	0.75kg
	硬化剤	0.25kg



2. 補修用具

- ・下地処理用具 サンドペーパー＃40～100
 ディスクサンダー
- ・容器・攪拌用具 攪拌用のスプーン又は攪拌棒
 ポリカップ
- ・塗装用具 刷毛・ヘラ・コテ
- ・その他 デジタル秤・マスキングテープ・ウエス
 缶切り



3. 傷の補修方法

傷の補修は下記の手順で行って下さい。

但し、傷が鋼面に達していない場合、③・④のプライマー塗装作業は省略することができます。

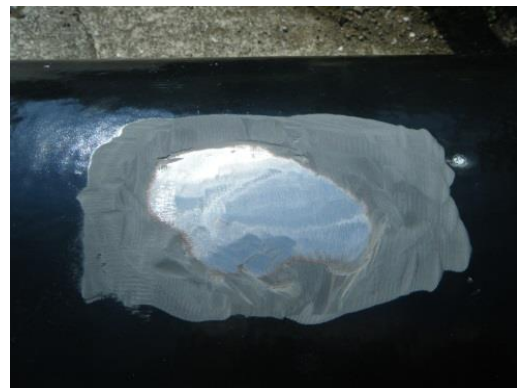
※損傷部



① 損傷部の整形

傷の周辺をディスクサンダーで整形する。又、さび等は入念に除去し、鋼材面を露出させる。

注: カップワイヤーは不可。



② マスキング養生及び周囲の素地調整

傷の周辺をマスキングテープ等で囲い、サンドペーパー等で面荒しする。

研磨粉・カス等を除去した後、#400シンナーを染み込ませたウエス等で拭き取る。



③プライマーの調合

塗料液と硬化剤を混合し、#400シンナーで10%希釈(刷毛塗りの場合)する。(セット配合を原則とする)

注: やむを得ず、少量配合する場合は、デジタル秤で1g単位まで正確に計量を行う。

目分量による配合は絶対に行わないこと。



④プライマーの塗装

刷毛で鋼材面に塗装する。

1時間以上(外気温による)乾燥させ、当日中に上塗りを塗装する。

注: 調合後、2時間以上(23℃)経過したプライマーは付着不良を起こすことがあるので絶対に使用しないでください。

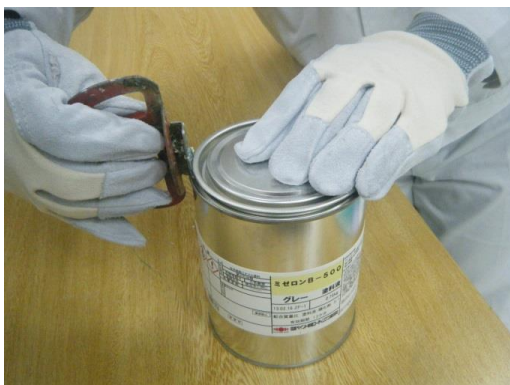


⑤上塗り塗料の調合

缶切り等で缶天端の縁を切り、塗料液(B-500)を缶底からかき混ぜ均一にしてから、塗料液の中に硬化剤(A-5000)を入れ、1分以上隅々まで攪拌する。(セット配合を原則とする)

注: やむを得ず、少量配合する場合は、デジタル秤で1g単位まで正確に計量を行う。

目分量による配合は絶対に行わないこと。又、シンナーは絶対に入れないこと。



⑥上塗り塗装

攪拌後、5分程度放置し、パテ状になったら、ヘラ等で補修部に盛り付け、コテ・ゴムヘラ等を用いて、平滑に仕上げる。

注：パテ状後、攪拌を加えるとだれ易くなる。

（可使時間は、気温や調合量で異なるが、おおよそ15分程度。混合直後の塗料は、流動性があるので、仕上げ用に使用すると良い）

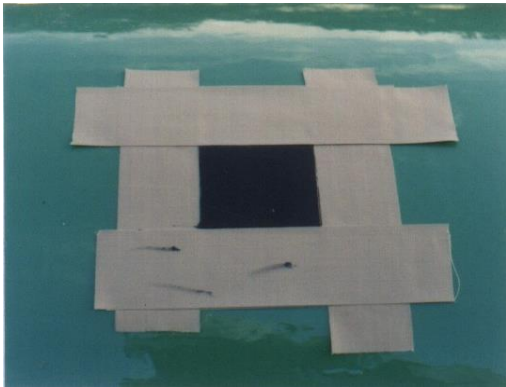


⑦出来上がり



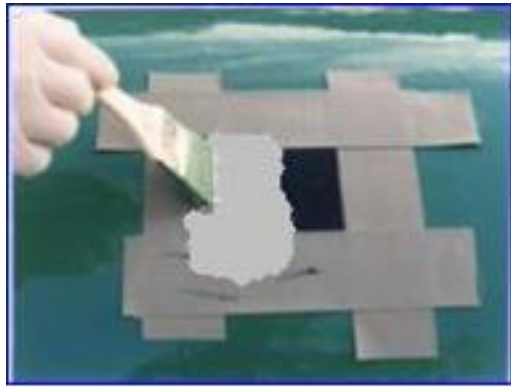
《着色》が必要な場合

⑧ マスキング



※ミゼロンB-500/A-5000の指触硬化を確認する。

⑨ 着色中塗り塗料の塗装

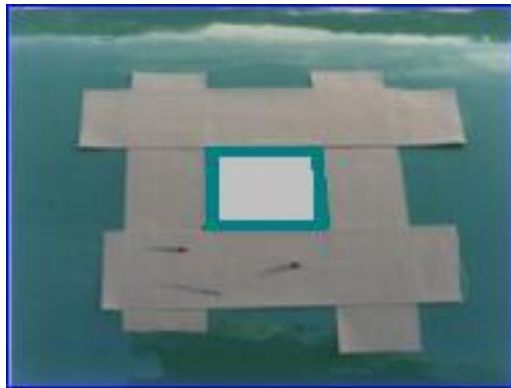


⑩ 着色中塗り



※指触硬化時間(23℃)
ハイウレロンHS : 20分
デュフロン100中塗りK : 60分

⑪ マスキング



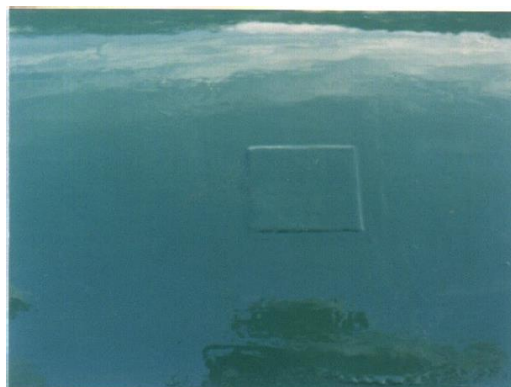
※着色中塗りの外側にマスキングする。

⑫ 着色上塗り塗料の塗装



※指触硬化時間(23℃)
ハイウレロンHS : 20分
デュフロン100フレッシュⅡ : 30分

⑬ 出来上がり



4. 補修標準塗装仕様

工 程	塗 料 名	標準膜厚 【μm/回】	塗装回数	使用量 【kg/m ² /回】	塗り重ね乾燥時間 【23℃】
下地処理	露出した鋼面は、ISO St3以上に処理。塗膜は、ディスクサンダー等で整形する。 補修部の塗膜は、#40～100のサンドペーパー等で表面が白くなるまで面荒しする。				4時間以内 ※1 1時間以上 5日以内 (屋外では当日中) ※2 24時間以上 7日以内 16時間以上 7日以内
プライマー	ミゼロンRプライマー(N)	20～50	1	0.12	
上塗り	ミゼロンB-500/A-5000	2,500	1	※3 4.0～6.0	
着色中塗り	ハイウレロンHSまたは、 ※4 デュフロン100中塗K	30	1	0.15	
着色上塗り	ハイウレロンHSまたは、 ※4 デュフロン100フレッシュⅡ	25	1	0.12	

※1 塗り重ね乾燥時間は、製品使用説明書からインターバル範囲を確認してください。

※2 ミゼロンB-500/A-5000 同士の塗り重ね乾燥時間は、24時間以内です。

塗り重ね乾燥時間が超過した場合は、ダブルアクションサンダー(研磨紙 #200前後)等を用いて入念に面荒しを行ってください。

※3 使用量は、被塗物の形状・施工方法・施工環境等により大きく変動します。

※4 デュフロン100中塗K 及び デュフロン100フレッシュⅡは、日本ペイント株式会社の製品です。

5. ミゼロンRプライマー(N) 上塗り塗装間隔範囲

プライマー/ミゼロン上塗り塗装間隔範囲(下図は工場内塗装の場合)

気温(℃)	1 hr	2 hr	3 hr	6 hr	1 日	2 日	3 日	4 日	5 日
10 以下									
10～25 未満									
25～40 未満									
40～50 以下									

屋外で塗装する場合には、プライマー塗装後は当日内に上塗り塗装することを推奨します。

(屋外では飛来によるホコリ等、異物付着の恐れがあるためです)

6. ミゼロンB-500/A-5000の可使時間(目安)

調合後の可使時間(1kg 調合時)

温度	可使時間(目安)
10℃以下	20～30分
20℃	15～20分
30℃	10～15分
40℃	5～10分

注:調合量を増やすと反応熱により、可使時間が短くなります。

平板に流しだすと放熱し、多少作業時間を延ばすことができます。

7. 塗装時の注意事項

- ① B-500(塗料液)は顔料分が沈んでいる場合があるので、ヘラ等を用いて缶の底からほぐすようにかき混ぜ均一にしてから、A-5000(硬化剤)と混ぜてください。
- ② ミゼロンB-500/A-5000は、1kg/セットを使用することを推奨いたします。
やむを得ず少量調合する際は、デジタル秤を使用して1g単位まで正確に計量してください。
なお、目分量による調合は絶対に行わないでください。
- ③ 可使時間が経過した塗料は使用しないでください。増粘がなくても可使時間が経過した塗料は付着不良の原因となります。
- ④ 雨天などで露点+3℃を確保できない時は、作業は行わないでください。
- ⑤ 各作業前には、必ず露点の確認を行ってください。

ミゼロン補修材・補修方法についてのお問合せは下記へお願いします



エーエスパイント株式会社

防食塗料営業部	〒273-0017 千葉県船橋市西浦3丁目7-1	TEL:047-434-3113 FAX:047-433-9444
大阪営業所	〒531-8511 大阪府大阪市北区大淀北2丁目1-2	TEL:06-6455-9321 FAX:06-6455-9301
名古屋営業所	〒453-0041 愛知県名古屋市中村区本陣通2丁目25-1	TEL:052-461-9765 FAX:052-461-9770
福岡営業所	〒810-0076 福岡県福岡市荒津1丁目1-17	TEL:092-741-1501 FAX:092-741-1901

本社 〒470-1141 愛知県豊明市阿野町池下30番地

<https://www.aspaint.co.jp/>